

# 郷土資料館 企画展

本覚寺 七面観音講



中央町渡辺家 エビス講



# おしま町

(三島町)



明治

大正

昭和

三島駅開業  
昭和9年



三嶋大社  
夏越の祓

平成15年

会期 3/16日 ▶ 5/25日

会場 三島市 郷土資料館  
(三島駅南口 楽寿園内)

入館 無料 (楽寿園入園は有料)  
大人300円：小人50円

主催 三島市郷土資料館  
☎ 055-971-8228

# 三島町の時代

江戸時代、宿場町として繁栄した三島は、明治23年（1890）市町村制度実施の前年に開通した鉄道「東海道線」（当時は御殿場経由）の開通で、人の往来が激減し「三島町」は大打撃を受け、窮乏しました。

この危機から立ち直るために町民はさまざまな努力を惜しみませんでした。

野戦重砲兵連隊の誘致（大正8、9年）、北伊豆震災（昭和5年）からの復興、丹那トンネルの開通と三島駅の開業（昭和9年）、北上村・錦田村（昭和10年・16年）との合併を通して、商人・職人の町として賑わいを取り戻し、昭和16年に三島市が誕生します。

今回の企画展では、旧三島町内の祭と民俗、商人の資料、職人の道具などと、昭和初期の子供達を表現した三四呂人形やさまざまな戦前の写真を通して、明治から戦後までの「三島町」の変遷を広く紹介いたします。



大正年間 久保町通り



市ヶ原(大社町)綿文呉服店の売出し



大正年間 小中島(本町)の山車



水上での農兵節 昭和初期